

富山県におけるヘリグロテントウトビハムシ（ハムシ科、トビハムシ亜科）の寄主植物

鈴木邦雄

〒 939-0364 富山県射水市南太閤山 14-35 Email: kunimushi@shore.ocn.ne.jp

Host plants of *Argopistes coccinelliformis* Csiki, 1940 (Chrysomelidae, Alticinae) observed in Toyama Prefecture, Hokuriku District, central Honshu, Japan

Kunio SUZUKI

13-45 Minami-Taikôyama, Imizu-shi, Toyama, 939-0364 Japan

ヘリグロテントウトビハムシ *Argopistes coccinelliformis* Csiki, 1940（ハムシ科、トビハムシ亜科）は、極東～東南アジアに広く分布し、日本では本州以西、南西諸島まで広く分布する。本種は富山県下からは公式には未記録であるが、筆者は少なくとも 10 年ほど前から富山市や射水市内をはじめ県下各地の市街地の庭木として普通に植栽されているモクセイ科 Oleaceae のイボタノキ属 *Ligustrum* とモクセイ属 *Osmanthus* の多くの種を加害しているのを観察しているので報告しておきたい。

2008 年 6 月、筆者は、富山市五福の富山大学構内に植栽されている次の樹種で本種の発生を確認した：ネズミモチ *Ligustrum japonicum* Thunb., イボタノキ *L. obtusifolium* Sieb. et Zucc., キンモクセイ *Osmanthus fragrans* Lour. var. *aurantiacus* Makino, ギンモクセイ *O. fragrans* Lour. var. *fragrans* Lour. (= *O. fragrans* var. *latifolius* Makino), マルバヒイラギ *O. heterophyllus* (G. Don) P. S. Green f. *rotundifolius* Rehd. 以上の他、ヒイラギ *O. heterophyllus* (G. Don)

P. S. Green の 1 栽培品種である俗称‘オニヒイラギ’にも発生しているのを確認した。植栽されている株数は、樹種によって異なるが、これら 2 属のいずれの植物にも加害が認められた。また、射水市太閤山地区の市街地でも、植栽されているキンモクセイ、ヒイラギモクセイ（ヒイラギとギンモクセイの交雑種 *Osmanthus x fortunei* Carrier）およびイボタノキで発生しているのを確認した（写真）。さらに、隣接している県民公園‘太閤山ランド’内に植栽されているヒイラギでも大発生しているのを観察している。以上の 2 属の他、トネリコ属 *Fraxinus* も寄主として利用している可能性が高いと推定し、富山県下では自然状態で各地の低丘陵地から中山帯に普遍的に生育しているアオダモ *F. lanuginosa* Koidz. f. *serrata* (Nakai) Murata（コバノトネリコ）や公園や市街地で植栽された株が多く見られるマルバアオダモ *Fraxinus sieboldiana* Blume を注意してきたが、これまでのところ発生は観察していない。



Fig. 1. Adults of *Argopistes coccinelliformis* Csiki leaving distinctive feeding traces on the leaves of *Osmanthus x fortunei* Carrier (a) and *Ligustrum obtusifolium* Sieb. et Zucc. (b) observed at Minami-Taikoyama, Imizu-shi, Toyama Pref., Honshu, Japan, on 25 April, 2014. 寄主の葉に特徴的な食痕を残す本種の成虫。a. ヒイラギモクセイ、b. イボタノキ。いずれも、2014年4月25日、射水市南太閤山にて観察。

井上・真梶 (1989a, b) は、千葉県松戸市の2ヶ所と東京都葛飾区の1ヶ所で植栽されているモクセイ科植物を調査し、ヒイラギモクセイ、ヒイラギ、キンモクセイ、ギンモクセイ (以上モクセイ属)、ネズミモチ、トウネズミモチ *L. lucidum* Ait., オオバイボタ *L. ovalifolium* Hassk., イボタノキ (以上イボタノキ属), オウバイ *Jasminum nudiflorum* Lindl. (ソケイ属 *Jasminum*), ムラサキハシドイ (ライラック) *Syringa vulgaris* L., ハシドイ *S. reticulata* (Bl.) Hara (以上ハシドイ属 *Syringa*) の11種で本種の発生を確認し (1989a), それら寄主植物各種の寄主としての役割と本種の寄主選好性の違いを野外観察と室内実験によって詳細に調べている (1989b). ムラサキハシドイやネズミモチは、太閤山地区の市街地にも広く植栽されているが、これまで本種の寄生は確認したことがない。本種は、モクセイ科の数属にしか寄生しない狭食性 oligophagous の種だが、利用可能な植物が複数生育している生息地では、実際に利用されている種は地域個体群によって異なっているように思われる。植食性昆虫が実際に利用している植物種は、生息地における食用あるいは寄主資源として利用可能な植物種の構成 (つまり植生環境) やその資源としての量、当該昆虫の個体群密度などにも大きく影響されるのではないかと推定される。

鈴木ら (2013) は、最近、サクラサルハムシ *Cleporus variabilis* (Baly, 1874) (ハムシ科, サルハムシ亜科 Eumolpinae) が、射水市の県民公園‘太閤山ランド’内で大発生し、14科20属24種に及ぶ多種多様の植物を食害し、それらのうち70%が園芸業者によって植栽されたものであることを明らかにした。また、筆者は、同公園内を中心に、同じサルハムシ亜科のアオバネサルハムシ *Basilepta fulvipennis* (Motschulsky, 1860) も少なくとも18科33属38種におよぶぎわめて多種多様の植物を寄主

として利用している多食性の種であることを明らかにした (鈴木, 2015. 本誌本号, 別稿)。富山県下のハムシ相に関しては、古くからかなり多くの報告があり、概要はほぼ明らかにされてきているが、ヘリグロテントウトビハムシは、公式の記録がないことから、おそらく園芸業者によるイボタノキ属やモクセイ属の植栽に伴って比較的最近に富山県外から移入され、定着したものと推定されるが、既に生息地が県下に広く拡大してしまっており、本県への侵入の経路などを突き止めることは現在ではもはや不可能であろう。いずれ富山県下の生息状況については詳しく報告する予定であるが、富山県下からの公式記録がないため、取り敢えず以下の採集データだけ記録しておく。

採集記録：多数、富山市五福, VI-2008; 多数、富山県射水市南太閤山, I-VII-2010; 多数、射水市太閤山ランド, IV, 2014. いずれも筆者採集。

なお、筆者は、2005年以降、冬期に県下各地で、主にケヤキなどの樹皮下で越冬中のハムシ類の調査を続けているが、本種も頻繁に見つかることを付言しておく。

引用文献

- 井上大成・真梶徳純, 1989a. ヘリグロテントウトノミハムシの生活史に関する研究 I. 種々の寄主植物上での加害様相と発生経過. 応動昆, 33: 217-222.
井上大成・真梶徳純, 1989b. ヘリグロテントウトノミハムシの生活史に関する研究 II. 寄主植物と発生. 応動昆, 33: 223-230.
鈴木邦雄, 2015. アオバネサルハムシ (鞘翅目, ハムシ科) の寄主植物選好性 (予報). さやばね ニューシリーズ, (17): 17-21.
鈴木邦雄・南 雅之・増岡裕大, 2013. サクラサルハムシ (ハムシ科, サルハムシ亜科) の寄主植物選好性—富山県射水市の県民公園‘太閤山ランド’における大発生をめぐって. さやばね ニューシリーズ, (12): 38-55.

(2014年11月29日受領, 2015年2月13日受理)

昆虫学研究器具は「志賀昆虫」へ

日本ではじめて出来たステンレス製有頭昆虫針00, 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6号, 有頭ダブル針も出来ました。その他, 採集, 製作器具一切豊富に取り揃えております。

〒142-0051
東京都品川区平塚2丁目5番8号
郵便振替 00130-4-21129
電話 (03) 5858-6401 (ムシは一番)
FAX (03) 3784-6464

(カタログ贈呈) (株) 志賀昆虫普及社

◇学会の発行物・バックナンバーの販売委託先◇

昆虫文献 六本脚

〒102-0075 東京都千代田区三番町24-3
三番町 MYビル3階

TEL: 03-6825-1164

FAX: 03-5213-1600

E-mail: roppon-ashi@kawamo.co.jp

URL: http://kawamo.co.jp/roppon-ashi/